

関東地方環境事務所における本年度の調査事項について

本年度の調査は、以下（１）～（５）の項目について、情報の収集および整理を行う計画としているが、協議会での情報共有や課題整理に資するものとするため、協議会構成員の意見を伺って参考としたい。

具体的には、各調査項目に関して、環境省本省が実施中の「災害時における災害廃棄物処理対策に係るアンケート調査」の結果から関東ブロック分の情報の抽出・分析を行い、関東ブロック内の自治体の取組進捗、計画や推計の前提条件、課題意識等に関する現状を把握することを計画している。また、その上で、各項目について他の自治体にも参考となる事例を抽出し、当該取組等の特徴を資料としてまとめ、関東ブロック内の現状と併せ、第２回協議会において紹介することを計画している。

（１）自治体の災害廃棄物量等の推計状況の整理【参考となる事例の抽出ポイント】

- 比較的規模の小さい自治体で発生量、処理可能量の推計を行っている事例
- 民間処理施設での処理量も考慮して処理可能量を推計している事例

（２）仮置場等の候補地の確保状況の調査【参考となる事例の抽出ポイント】

- 仮置場の候補地に民有地を（相手との交渉のうえ）含めている事例
- 仮置場の候補地を公表している事例
- 仮置場の候補地選定にあたって、周辺の住民に説明・交渉を行っている事例
- 発災後に利用できる土地の用途について、他部署と調整を行っている事例
- ２次仮置場について検討を行っている事例

（３）自治体の災害廃棄物処理計画等の策定状況の調査【参考となる事例の抽出ポイント】

- 東日本大震災以降、災害廃棄物処理計画を策定している事例
- 災害廃棄物処理計画を定期的に見直す仕組みがある事例
- 災害廃棄物処理計画を公表している事例

（４）自治体間、自治体と民間事業者との連携・協力体制の調査【参考となる事例の抽出ポイント】

- 協定に基づいた訓練や、協定締結後の協議を定期的に行っている事例
- 災害発生時に収集運搬車両等の燃料の供給を優先的に受けられる協力体制を持つ事例
- 域内の事業所と災害時の廃棄物について話し合いを行っている事例

（５）自治体のし尿処理需要量の推計等の状況の調査・支援【参考となる事例の抽出ポイント】

- 自宅待機しているもののライフラインが途絶している住民についても、し尿収集量の推計に含めている事例
- バキュームカーを提供・貸与してもらえる協力体制が整っている事例

<参考>

「災害時における災害廃棄物処理対策に係るアンケート調査」項目 ※既送付済み

(1) 自治体の災害廃棄物量等の推計状況の整理

3. 災害廃棄物発生量と処理可能量の推計			都道府県 市区町村		
問3-1	貴自治体内で災害時に発生する廃棄物量の推計を行っていますか。		①推計済み ②推計中 ③今後、推計する予定 ④推計する予定はない	○	○
問3-1-1	(①、②の選択者) ①の被害想定を基に行っていますか。	②の被害想定を基に行っていますか。	記入	○	○
問3-1-2	(①、②の選択者) 推計にあたって想定している、もしくは想定を検討している災害の種類について、あてはまるもの全てを選んでください。		①問2-1-3と同じ ②それ以外の災害を想定している 一名称、震度、津波の高さを記述 ③他自治体が推計した結果をそのまま使用している 一使用した推計の名称を記述 ⑥その他 一自由記述	○	○
問3-1-3	(①、②の選択者) 推計に含まれている、もしくは含むことを検討している災害廃棄物の種類について、あてはまるもの全てを選んでください。なお、各品目の詳細な定義は指針本編1-5～1-6ページを参考にしてください。		・可燃物 ・木くず ・不燃物 ・金属くず ・コンクリートがら ・廃家電 ・廃自動車等 ・廃船舶 ・腐敗性廃棄物 ・津波堆積物 ・有害廃棄物 ・適正処理が困難な廃棄物(消火器、ポンプ等) ・その他	○	○
問3-1-4	(①、②の選択者) 推計に用いている、もしくは用いることを検討している原単位を選んでください。品目等によって異なる原単位を用いている場合は、複数選択してください。		①東日本大震災の処理実績に基づく原単位(ランドデザインに記載) ②阪神・淡路大震災の処理実績に基づく原単位(震災廃棄物対策指針に記載) ③その他の災害の処理実績に基づく原単位 一詳細を記載 ④他の自治体で用いられている原単位 一自治体名を記入 ⑤研究論文や各種研究所から公開されている原単位 一論文名や研究所名を記載 ⑥その他 一記述	○	○
問3-2	貴自治体内で災害時に処理できる廃棄物の量を推計していますか。		①推計済み ②推計は行っていないが、処理施設をリストアップしている ③今後、推計する予定 ④推計する予定はない	○	○
問3-2-1	(①の選択者) 推計の対象としている施設について、あてはまるものを選んでください。		①公営処理施設のみを対象としている ②民間処理施設のみを対象としている ③公営・民間両方の処理施設を対象としている	○	○
問3-2-2	(①の選択者) 推計について、あてはまるもの全てを選んでください。		①再生資材の活用ルートについて検討を行っている ②処分先について検討を行っている ③上記のいずれも行っていない	○	○
問3-2-3	(②の選択者) 処理先としてリストアップしている施設について、あてはまるものを選んでください。		①公営処理施設のみを対象としている ②民間処理施設のみを対象としている ③公営・民間両方の処理施設を対象としている	○	○
問3-3	災害時に発生する廃棄物量及び災害時に処理できる廃棄物の量の推計にあたって課題だと思われるものを選んでください。(最大3つまで)		・どの推計手法を用いればよいか分からない ・どの原単位を用いればよいか分からない ・どのような災害を想定すればよいか分からない ・推計の対象とする廃棄物の品目が定まらない ・職員数が不足して手が回らない ・他部署との調整が上手くいかない ・その他 一自由記述	○	○

(2) 仮置場等の候補地の確保状況の調査

5. 仮置場の候補地検討状況			都道府県 市区町村		
問5-1	災害時に廃棄物を仮置きするための仮置き場の候補地リストはありますか。なお、ここでいう仮置き場とは「市街地内にて、市民からの災害廃棄物を一次的に受け入れる場所」を指します。		①リストを作成している ②リストは作成していないが、大よその検討を行っている ③リストの作成も検討も行っていない		○
問5-1-1	(①、②の選択者) 候補地は公有地ですか。私有地ですか。		①公有地 ②私有地 ③両方		○
問5-1-2	(①、②の選択者) 候補地の公私区分、箇所数、面積を入力してください。		数値入力		○
問5-1-3	(①、②の選択者) 候補地は公表していますか		①公表している 一公表の方法を選択(計画に記載、県または市のHPに掲載、特定の場所での閲覧を可能としている、その他)MA ②今後、公表する予定である ③公表する予定はない		○
問5-1-4	(①、②の選択者) 候補地について、あてはまるものを全て選んでください		【必要量の確保】 ①災害廃棄物の推計量にかかわらず、可能な候補地を検討している ②災害廃棄物の推計量に基づいて、必要面積を算定している ③必要面積分の候補地が検討できている ④必要面積分の候補地が検討できていない 【実行性を高める】 ⑤利用用途について他部署と調整を行っている ⑥候補地を仮置場として使用するための条件(受け入れ条件等)を検討している ⑦民有地所有者との調整を行っている ⑧候補地周辺の住民に説明を行っている 【運用上のルール】 ⑨仮置場への搬入ルートを検討している ⑩積み上げ高さ等の保管ルールを検討している ⑪地面への浸出水対策等を検討している ⑫水、電気等のユーティリティについて検討している		○

問5-2	災害時、一時的に災害廃棄物を受け入れるだけでなく、選別や破碎等の中間処理を行える2次仮置場について検討していますか	①検討している ②今後、検討を予定している ③検討する予定はない		○
問5-2-1	(①、②の選択者) 候補地は公有地ですか。民有地ですか。	①公有地 ②民有地 ③両方		○
問5-2-2	(①、②の選択者) 候補地の公私区分、箇所数、面積を入力してください。	数値入力		○
問5-2-3	(①、②の選択者) 候補地は公表していますか	①公表している 一公表の方法を選択(計画に記載、県または市のHPに掲載、特定の場所での閲覧を可能としている、その他)MA ②今後、公表する予定である ③公表する予定はない		○
問5-2-4	(①、②の選択者) 候補地について、あてはまるものを全て選んでください	【必要量の確保】 ①災害廃棄物の推計量にかかわらず、可能な候補地を検討している ②災害廃棄物の推計量に基づいて、必要面積を算定している ③必要面積分の候補地が検討できている ④必要面積分の候補地が検討できていない 【実行性を高める】 ②利用用途について他部局と調整を行っている ③候補地を仮置場として使用するための条件(受け入れ条件等)を検討している ④民有地所有者との調整を行っている ⑤候補地周辺の住民に説明を行っている 【運用上のルール】 ⑤仮置場への搬入ルートを検討している ⑥積み上げ高さ等の保管ルールを検討している ⑦地面への排水対策等を検討している ⑧水、電気等のユーティリティについて検討している		○
問5-3	仮置場の候補地検討にあたって課題だと思われるものを選んでください。(最大)	・災害時に利用可能な空き地の把握が難しい ・災害時に利用可能な空き地の面積が必要な面積に比べて足りない ・他の利用用途との調整が難しい ・仮置場としてどれぐらいの面積が必要なのか分からない ・住民や民間事業者との折衝が進まない ・仮置場として候補地を使用した後の返却条件が明確でない ・仮置場への搬入ルートの確保が難しい ・検討にあたる職員や時間を確保できない ・他部署とうまく連携できない ・専門的な情報や知見が不足している ・その他 一自由記述		○ ○
問5-3	市町村と仮置場のリストについて、情報を共有する場がありますか	①ある ②今後検討する予定である ③検討の予定はない		○

(3) 自治体の災害廃棄物処理計画等の策定状況の調査

2. 災害廃棄物処理計画の策定状況				都道府県 市区町村	
問2-1	貴自治体では、災害廃棄物処理計画を策定していますか。	①策定済み ②現在策定中 ③今後、策定を検討する予定 ④策定する予定無し		○	○
問2-1-1	(①、②の選択者) 策定している、もしくは現在策定中の計画は、指針に基づいて作成していますか。	①はい 一選択①災害廃棄物対策指針②震災廃棄物対策指針③水害廃棄物対策指針		○	○
問2-1-2	(①、②の選択者) 策定している、もしくは現在策定中の計画は、どのように策定していますか。	①単独の計画として策定している ②地域防災計画の中に明記している ③地域防災計画の中で別途定めることとしている ④その他 一自由記述		○	○
問2-1-3	(①、②の選択者) 計画内で想定している、もしくは想定を検討している災害の種類について、あてはまるもの全てを選んでください。	①巨大災害 一名称、震度、津波の高さを記述 ②発生頻度の高い災害 一選択(水害、土砂災害、竜巻、高潮)MA ③その他 一自由記述		○	○
問2-1-4	(①、②の選択者) 策定している、あるいは現在策定中の計画に含まれるものを全て選んでください。	【災害前に関する項目】 ・災害発生時の組織体制 ・県内の自治体間や民間事業者との連携体制 ・県域を超えた自治体間や民間事業者との広域的な連携体制 ・職員への教育訓練 一一般廃棄物処理施設における減災対策 一一般廃棄物処理施設における発災時の作業手順 ・災害廃棄物の発生量の推計 ・災害廃棄物の処理可能量の把握 ・災害廃棄物処理のスケジュールや処理フロー ・災害廃棄物の収集運搬 ・災害廃棄物を処理する施設 ・仮置き場の確保 ・仮置き場の配置計画と運営 ・住民に向けた災害廃棄物計画等の情報発信・広報 【災害時に関する項目】 ・自治体内や関係者間の体制整備 ・外部関係者と連携体制 ・尿発生量の推計 ・必要な資器材の供給可能量の把握 ・災害廃棄物の処理実行計画 ・災害廃棄物の処理方針 ・災害廃棄物の処理手順 ・避難所から発生する廃棄物 ・災害時の生活ごみの処理 ・被災しなかった場合の被災自治体への支援 ・有害物質の把握 ・災害発生時における住民への情報発信・広報		○	○

問2-1-5	(①の選択者)	計画を定期的に見直し仕組みはありますか	①はい 一見直し方法について自由記述 ②いいえ	○	○
問2-1-6	(①の選択者)	計画は公表していますか	①公表している 一公表の方法を選択(県または市のHPに掲載、特定の場所での閲覧を可能としている、その他)MA ②今後、公表する予定である ③公表する予定はない	○	○
問2-2		災害廃棄物処理計画の作成にあたって課題だと思われるものを選んでください	<ul style="list-style-type: none"> ・作成にあたる職員や時間を確保できない ・他部署とうまく連携できない ・周辺自治体や都道府県と連携できない ・専門的な情報や知見が不足している ・どの災害を想定して作成すればよいか分からない ・何から手をつければよいか分からない ・職員の異動等によって計画の維持管理が難しい ・作成したものの見直しの見通しが無い ・訓練の仕組みがない ・その他 →記述 	○	○

(4) 自治体間、自治体と民間事業者との連携・協力体制の調査

6. 自治体間、自治体と民間事業者との連携・協力体制			都道府県 市区町村		
問6-1		都道府県内の自治体との協定がありますか	①協定を結んでいる→(具体的に協定の内容を自由記述) ②今後結ぶ予定である ③協定を結ぶ予定はない	○	○
問6-1-1	(①、②の選択者)	既に締結している、あるいは締結したいと考えている協定について、あてはまるものを全て選んでください。	①災害時に協定が上手く機能するよう、締結後も協議を行う ②協定に基づいた訓練 ③協定先が同時に被災しないよう、想定される災害の影響を受けない地域になるよう配慮している	○	○
問6-1-2	(①の選択者)	締結している協定について、定期的な見直しを行っている、あるいは定期的な見直しを行う予定ですか。	①はい、②いいえ	○	○
問6-2		都道府県外の自治体との協定がありますか	①協定を結んでいる→(具体的に協定の内容を自由記述) ②今後結ぶ予定である ③協定を結ぶ予定はない	○	○
問6-2-1	(①、②の選択者)	既に締結している、あるいは締結したいと考えている協定について、あてはまるものを全て選んでください。	①災害時に協定が上手く機能するよう、締結後も協議を行う ②協定に基づいた訓練 ③協定先が同時に被災しないよう、想定される災害の影響を受けない地域になるよう配慮している	○	○
問6-2-2	(①の選択者)	締結している協定について、定期的な見直しを行っている、あるいは定期的な見直しを行う予定ですか。	①はい、②いいえ	○	○
問6-3		廃棄物関連あるいは廃棄物の再生利用を行う民間事業者等との協定がありますか	①協定を結んでいる→(具体的に協定の内容を自由記述) ②今後結ぶ予定である ③協定を結ぶ予定はない	○	○
問6-3-1	(①、②の選択者)	既に締結している、あるいは締結したいと考えている民間事業者の種類について、あてはまるものを全て選んでください。	【廃棄物関連】 ①一般廃棄物処理事業者 ②一般廃棄物処理の業界団体 ③産業廃棄物処理事業者 ④産業廃棄物処理の業界団体 ⑤収集運搬事業者 ⑥収集運搬の業界団体 【再生利用等関連】 ⑦セメント会社 ⑧製紙会社 【その他事業】 ⑨解体事業者 ⑩建設事業者 ⑪建設業協会 ⑫道路啓開事業者 ⑬運輸事業者 ⑭その他(自由記述)	○	○
問6-3-2	(①、②の選択者)	既に締結している、あるいは締結したいと考えている協定について、あてはまるものを全て選んでください。	①災害時に協定が上手く機能するよう、締結後も協議を行う ②協定に基づいた訓練 ③協定先が同時に被災しないよう、想定される災害の影響を受けない地域になるよう配慮している	○	○
問6-3-3	(①の選択者)	締結している協定について、定期的な見直しを行っている、あるいは定期的な見直しを行う予定ですか。	①はい、②いいえ	○	○
問6-4		災害発生時に収集運搬車両等の燃料の供給を優先的に受けられるような協力体制がありますか。	①はい、②いいえ	○	○
問6-4-1	(①の選択者)	内容について具体的に記述ください。	自由記述	○	○
問3-2		地域内の事業所と災害時の廃棄物についての話し合いの実施などの協力体制	①はい ②今後検討する予定 ③地域内に大規模事業者は無い ④検討する予定はない	○	○

(5) 自治体のし尿処理需要量の推計等の状況の調査・支援

4. し尿収集量の推計			都道府県 市区町村		
問4-1	し尿収集量を推計していますか。		①推計済み ②推計中 ③今後、推計する予定 ④推計する予定はない	○	○
問4-1-1	(①の選択者) 推計に含まれているものを全て選んでください。		①避難所への避難者 ②避難所には行かず自宅待機しているがライフラインが途絶している住民 ③その他(例: 帰宅困難者等) →(記述)	○	○
問4-1-2	(①の選択者) 推計にあたって想定している期間を入力してください。		数値入力	○	○
問4-1-3	(①の選択者) 推計にあたって想定している人数を入力してください。		数値入力(避難者、ライフライン途絶住民、その他)	○	○
問4-2	貴自治体では、災害時に汲み取り用のバキュームカーを確保していますか		①バキュームカーを保有している →保有台数を入力 ②バキュームカーを提供・貸与等してもらえる協力体制が整っている ③保有しており、足りない場合は提供・貸与等してもらえる協力体制が整っている ④保有しておらず、提供・貸与等してもらえる協力体制がない	○	○
問4-3	貴自治体では、災害時に必要なトイレをどの程度確保していますか		①簡易トイレ ①仮設トイレ →数値入力(OL/基 × O基) ②マンホールトイレ →数値入力(O基) ③車載型トイレ →数値入力(O基) ④その他 →自由記述	○	○
問4-4	災害時に、汲み取り対応のための仮設トイレの設置情報を共有する仕組みがありますか		①はい ②いいえ	○	○
問4-5	し尿発生量の推計にあたって課題だと思われるものを選んでください。(最大3つ)		・推計手法が分からない ・どの原単位を用いればよいか分からない ・どのような災害を想定すればよいか分からない ・推計の対象とする避難者数が定まらない ・推計にあたる職員や時間を確保できない ・他部署とうまく連携できない ・周辺自治体や都道府県と連携できない	○	○